

| グレー系薄紫色の中輪バラ新品種候補「ひたち1号」（仮称）の育成 | | | |
|---|-------|------|----|
| [要約] バラ新品種候補「ひたち1号」は、上品なグレー系薄紫色の中輪バラで、香りを有する。採花本数（収量性）は普通、日持ち性は劣るものの、花色や花形等に優れ、ブライダル用途等に適する。 | | | |
| 茨城県農業総合センター生物工学研究所 〃 園芸研究所 | 令和4年度 | 成果区分 | 普及 |

1. 背景・ねらい

茨城県の県花であるバラは産出額約3億円で、主要な施設花き品目の一つである。近年、バラ経営では花き需要の低迷や燃料費高騰、さらに全国で生産される品種の画一化により産地間の差別化が困難な状況であり、経営が圧迫されている。そこで、他産地との差別化が可能なオリジナル性を有し、生産性が高いバラ品種を育成する。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 「ひたち1号」は平成24年交配「07C44」×「ストレンジア」の選抜系統である。
- 2) グレー系薄紫色の上品な花色で、香りを有する系統である（写真1）。中輪のロゼット～平咲きで、花弁数は多く、花弁の破断強度は弱い（データ略）。
- 3) 採花本数（収量性）は「サムライ⁰⁸」と比較してやや多いが、「アヴァランチェ+」（多収性品種）よりはやや少ない。切花長、切花重及び茎径は「アヴァランチェ+」と同程度であるが、花高は小さい。茎径はやや細く、花首は軟らかい（表1）。
- 4) 日持ち性は5.1日と劣るが、流通している芳香性バラと同程度である（データ略）。消費者段階の日持ち処理剤（抗菌剤、抗菌剤+糖）の効果は認められない（データ略）。
- 5) 県内実需者（ブライダル装花2社）からは、「花色や香りが高評価で、取引単価は平均以上、用途はブライダル・小売りの両方で利用可能」、「ブライダル向きで、取引単価はブライダル利用単価の平均を少し上回る」と評価されている（データ略）。
- 6) 県内市場関係者（M社）からは、特に花色、花形、バランス、香りを評価する回答が多い。用途としては、ブライダル、ギフト、会場装花に適し、小売りでの利用は限られると評価されている（表2）。
- 7) 東京都中央卸売市場の市場関係者（S社）からは、花色と花形の評価が優れ、特に市場、仲卸関係者からの評価が高い。用途としては、ブライダル、小売り、ギフトに適するとの評価が多い（表2、一部データ略）。
- 8) 現地適応性検定試験（2経営体）では、切花長、花色、花形の評価が優れている。生産者が新品種導入の際に重要視する収量性、病虫害発生、花色、花形や商品性は、極良～普通の評価を得ている（表3）。
- 9) 導入希望を、本系統の試験栽培を行ったことのある3経営体に聞き取りした結果、2経営体で導入による試作および販売の希望がある（データ略）。本格生産される際には、1経営体当たり500株程度が見込まれる。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 表情（咲き方）が異なる場合があるが、軽微なものが多い。
- 2) 切り前は早いと花高が小さく、ボリュームやバランスが劣るため、注意を要する。
- 3) 普及対象：県内全域

4. 具体的データ



写真1 「ひたち1号」の花姿

表1 「ひたち1号」の特性 (R2)

| 系統・品種 | 採花本数 (本/株) | 切り花長 (cm) | 花首長 (cm) | 花高 (cm) | 切り花重 (g) | 節数 (節) | 茎径 ³⁾ (mm) | 咲き方 ⁴⁾ | | | | |
|------------------------|---------------|--------------|-------------|------------|-------------|-----------|--------------------------|-------------------|----|----|---|---|
| | | | | | | | | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ひたち1号(薄紫) | 5.1 | 76.3 | 10.2 | 3.7 | 45.5 | 14.1 | 6.6 | 55 | 21 | 12 | 9 | 3 |
| アヴァランチェ+(白) | 6.5 | 69.3 | 9.5 | 5.0 | 47.9 | 13.9 | 6.2 | 99 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| サムライ ⁰⁸ (赤) | 4.1 | 90.3 | 9.5 | 5.4 | 75.6 | 19.0 | 8.1 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 |

- 1) 65型プランターによる少量培地耕・アーチング仕立て、15株/区。9月28日に同化専用枝を3本/枝、長さ80cmに揃え、採花枝を整理した
 2) 10月から加温(18℃)開始、換気温度は28℃。採花は2020年10月以降、2021年4月30日まで(1年生株)、切り花長40cm以上の切り花を集計した
 3) 切り前はわずかに花芯がほどけはじめた時期。茎径は切り口から1cm上部を測定
 4) 咲き方をスタンダード(0)～芯が大きく乱れる(4)の5段階に分類し、2までを軽度とした。

表2「ひたち1号」の市場性評価 (R3、R4)

| | | ひたち1号 | |
|------------------|-------------------|---------|-----------|
| | | 県内市場関係者 | 中央卸売市場関係者 |
| 項目 ¹⁾ | 花色 | 4.0 | 3.9 |
| | 花形 | 4.1 | 4.2 |
| | ボリューム | 3.9 | 3.4 |
| | バランス | 4.1 | 3.6 |
| | 香り | 4.0 | 3.3 |
| | 新規性 | 3.8 | 3.3 |
| | 商品性 | 3.7 | 3.5 |
| | 適用途 ²⁾ | | |
| | ブライダル | 10 | 12 |
| | ギフト | 7 | 7 |
| | 小売り | 3 | 9 |
| | 会場装花 | 7 | 4 |
| | アレンジメント | 6 | 6 |
| | 延べ回答数 | 33 | 38 |

- 1) 県内市場関係者は回答者13名。中央卸売市場関係者は回答者28名。5:良い(高い)～4:やや良い(やや高い)～3:普通～2:やや悪い(やや低い)～1:悪い(低い)、の5段階評価で調査した。評価が良いと考えられるものは色塗りした
 2) ブライダル、ギフト、小売り、会場装花、アレンジメントから複数回答可とした。評価が高かった項目を色塗りした

表3「ひたち1号」の現地適応性評価 (R4)

| 評価項目 | 評価基準 | ひたち1号 | |
|---------|------|-------|------|
| | | A経営体 | B経営体 |
| 収量性 | (1) | 普通 | 普通 |
| 作りやすさ | (2) | 普通 | 普通 |
| 病害虫発生 | (1) | 少 | 普通 |
| 切り花長 | (2) | 良 | 極良 |
| 花色 | (2) | 良 | 極良 |
| 花形 | (2) | 良 | 良 |
| 花のボリューム | (2) | 劣 | 劣 |
| 香り | (2) | 良 | 普通 |
| バランス | (2) | 劣 | 良 |
| 日持ち性 | (2) | 普通 | 良 |
| 商品性 | (2) | 良 | 極良 |
| 総合評価 | (2) | 普通 | 良～普通 |
| 品種化要望 | (3) | 有 | 有 |
| 導入希望 | (3) | 有 | 有 |

- (A経営体)
 ・採花の切り前が早めだとボリューム感が劣るが、十分開いた状態であれば問題にはならない→出荷や販売の仕方が重要
 (B経営体)
 ・(類似品種と比較して)この花色としては切り花長がとれる

重要視する項目 A経営体: 収量、病害虫発生、花色、花形
 B経営体: 収量、病害虫発生、商品性

- 1) 極多・多・普通・少・極少の5段階評価
 2) 極良・良・普通・劣・極劣の5段階評価
 3) 有・無の2段階評価 (有・無の中間に評価した)

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

新品種育成普及促進事業・平成18年度～・生物工学研究所 果樹・花き育種研究室
 園芸研究所 花き研究室